「せたがや福社区民学会」規約

平成 21 年 12 月 12 日

改正 平成 26 年 3 月 10 日

第 1 総 則

1 名称

本会は、せたがや福社区民学会（以下「学会」という。）という。

2 事務局

学会の事務局は、社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団世田谷区福祉人材育成・研修センター（以下「研修センター」という。）に置く。

第 2 目的及び事業

3 目的

学会は、世田谷区民（以下「区民」という。）の福祉の向上をめざして、世田谷区内（以下「区内」という。）において福祉の事業所で働く人、福祉について学ぶ人、教育・研究する人、行政に携わる人及び区民が、互いに対等な立場で福祉実践活動の工夫や抱える課題について、研究成果を発表し、相互に学びあうために、世田谷区を区域として設置する。

区内の優れた福祉事業や実践活動について発表する機会をつくり、福祉に携わる人の仕事への意欲を増進させ、専門性の向上を目指す。

区民が学会への参加活動を通じて、福祉活動への関心を高め、地域福祉に対して理解を深める。

会員が自由に議論し、共に学び、交流を深める。

実践事例を発表することにより、時代に即した新しい試みを推進する。

4 事業

学会は、次の事業を行う。

大会の開催

報告集、学会通信などの発行

会員同士の情報交換と交流

区民および全国に向けた学会の周知

その他、学会の目的を達成するために必要な事業

第3 会員

5 会員の要件

学会の会員は、世田谷区に在住、在勤、在学者で次のいずれかに該当する者（個人または団体）とする。

福祉サービスを提供している者、福祉サービスを利用している者

福祉に関するボランティア活動や地域福祉活動を行っている者

高齢者、障害者または子どもの福祉に関わる者

福祉について学び、研究する者

福祉活動について関心のある者

福祉行政に携わる者

6 会員の権利

学会の会員は次の権利を持つ。

- (1) 総会における議決権を行使する。
- (2) 大会において研究発表を行う。
- (3) 学会通信への投稿及び配付を受ける。
- (4) 会員の交流

7 入会

学会に入会しようとする者は、所定の申込書を事務局に提出し、登録する。

8 会費

- (1) 会員は、別に定めるところにより会費を納めなければならない。
- (2) 既納の会費は返納しない。

9 退会等

- (1) 会員は、事務局に所定の退会届を提出し、退会することができる。
- (2) 会費を納期から1年以上滞納した場合は、退会したとみなすことができる。
- (3) 学会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為をし、あるいはこの規約に反する行為のあったときは、理事会の議決を経て除名することができる。

第4 組織

10 役員

学会に理事及び監事を置く。

(1) 理事 20名程度

(2) 監事 2名

11 役員を選任

理事及び監事は、会員の互選により選任する。

(1) 理事のうち1名は理事の互選により会長となる。

(2) 会長は必要と認めるときは、理事の中から副会長を指名する。

12 役員の任期

(1) 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(2) 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行うものとする。

(3) 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

13 会長の職務

会長は、学会を代表し、会務を統括する。

14 会長の職務代行

会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名する他の理事が、その職務を代行する。

15 理事会

(1) 学会の運営に関する審議は、理事をもって組織する理事会において行う。

(2) 理事会は、会長の招集により随時開催する。

(3) 理事会に議長を置き、議長は会長がつとめる。

(4) 理事会は、理事総数の過半数の出席がなければ開会することができない。

16 理事会の審議

(1) 理事会の議事は、出席者の過半数で決し、審議事項は次のとおりとする。

予算、決算、事業計画及び事業報告

学会の規約の制定及び改廃

その他、会務運営のために必要な一切の事項

(2) 会議の議事については、議事録を作成するものとする。

17 監事

監事は、学会の会計及び会務執行状況を監査する。

18 運営委員

(1) 理事の互選により運営委員を置き、適宜、運営委員会を開催する。

(2) 運営委員は、学会の運営に関わる実務を行う。

19 総会

(1) 会長は、毎年1回会員の総会を招集する。

(2) 会長は、必要と認めるとき又は会員総数の3分の1以上から総会招集を求められた場合には、臨時総会を開くことができる。

20 総会の議決

総会の議事は、出席会員の過半数をもって決する。議決事項は次のとおりとする。

16の 及び に掲げる事項

その他理事会が必要と認めた事項

第5 会計

21 経費

学会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもって充てる。

22 予算

学会の予算は、理事会の審議を経て、総会において議決する。

23 決算

決算は、監事の監査の後、理事会の審議を経て、総会において議決する。

2 4 会計年度

会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6 解散

2 5 解散

学会は、会員総数の3分の1又は理事総数の過半数から発議された場合には、総会において出席会員の3分の2以上の承認により解散する。

附 則

(施行期日)

1 この規約は平成21年12月12日から施行する。

ただし、第5の21から23までの規定については、平成22年4月1日から施行する。

(学会設立時の措置)

2 設立総会の議事は設立発起人会が提起し、総会出席者の半数以上の賛同により、学会は設立する。

3 設立発起人会の事務局は、研修センターに置く。

4 学会設立前に、設立発起人会の事務局に入会の申込書を提出してある場合は、設立の日からこの学会の会員となるものとする。

5 この学会の設立当初の役員は、設立総会で選任する。この役員の任期は、第11条の定めに関わらず、平成23年3月31日までとする。

6 平成21年度の会計については、世田谷区から研修センターに交付される委託料により研修センターで行い、理事会及び世田谷区に報告する。

附 則 (平成26年3月10日)

(施行期日)

1 この規約は平成26年3月10日から施行する。